

1. 博物館リニューアル推進事業について

- 福岡市博物館は、開館後30年以上経過し、施設設備の老朽化への抜本的な対策の必要性が高まっている。
- 開館以来、福岡市の成長戦略や社会教育施設を取り巻く状況は大きく変化している。博物館も、築いた強みを活かしつつ、新たなニーズに応じていくことが求められている。
- 博物館リニューアル推進事業は、これからの博物館の在り方を見据え、機能の維持向上や拡充、運営体制の強化等を図っていくものである。



【福岡市博物館の沿革】

平成元年 (1989)	アジア太平洋博覧会開催	テーマ館として活用
平成 2年 (1990)	福岡市博物館として開館	
平成25年 (2013)	常設展示リニューアル	
令和 2年 (2020)	改修工事 (高圧受変電設備及び自家用発電機器更新)	

2. 博物館の特長と課題

【特長】

① 魅力ある常設展示

教科書にも登場する国宝・金印の常時公開を核として福岡の歴史文化を紹介し、多くの来場者を得ている。

【開館以来の総来場者数－390万人】



常設展示室の導入部分

【主な課題】

- 過去－現在－未来をつなぐストーリーの展示
- 進化した情報技術の活用
- インバウンドへの訴求力の向上

② 待望される展覧会

日本・世界の文化芸術に親しむことができる特別展を数多く開催し、多くの来場者を迎えている。

【開館以来の総来場者数－795万人】



特別展「九州仏」(平成26年度)

- 展示室の内装・機器類の更新
- 展示やグッズ類販売のスペース拡充

③ 充実した教育普及

市内学校へのお出前学習、校外学習や他都市からの修学旅行の受入れを頻繁に実施している。また、体験を通じて歴史文化に親しめる体験学習室は多くの人に利用されている。



体験学習室のイベント「君も考古学者！」

- 多様な利用者の受入環境向上
- 修学旅行をひきつける魅力と利便性の向上
- 読書室や講座室の利用率向上

④ 豊富な収蔵資料

寄贈を含む、多くの文化財を博物館資料として収集保存し、福岡の歴史文化を伝える市民の財産を築いている。

【収蔵資料件数－約18万6千件】



国宝 刀 名物「庄切長谷部」
金襴絞打刀拵

- 災害の激甚化への備え
- 資料の収蔵スペース拡充

⑤ 特色ある建物と外構

建物は、MICE関連企画や様々なイベントの舞台としても活用され、外構は、緑豊かな憩いの空間として親しまれている。



エントランスでの古代衣装ファッションショー

- 催事会場としての使い勝手の向上
- 飲食等のサービスの充実
- 敷地全体の有効活用

3. これからの博物館に求められる役割・取組み

- (1) 「より多くの市民に開かれた施設」 ← 福岡市文化芸術振興計画 (令和元年6月策定)
- (2) 「インバウンドの積極的な集客や受入環境の向上」 ← 福岡市文化芸術振興計画
地域における文化観光推進の中核となる「文化観光拠点施設」 ← 文化観光推進法 (令和2年5月施行)
- (3) 2040年度温室効果ガス排出実質ゼロの達成
- (4) SDG s (持続可能な開発目標) の達成

4. リニューアル推進の基本方針と達成すべき目標（案）

基本方針 … 設備の更新をはじめとする大規模改修と運営体制の強化により、歴史文化の発信拠点、文化観光の拠点、学びと交流の拠点、文化を次世代へ継承する拠点としての機能向上を図り、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に貢献する。

目標1 多様性と交流が育んだ歴史文化のストーリーの発信力を高める

- 市民が未来の展望を得られる歴史文化のストーリーの発信を充実させる。
- MICEによる来訪者を含む、幅広い観光客をターゲットとした文化観光の拠点機能を強化し、福岡の歴史文化の対外発信力を高める。



第12回アジア太平洋都市サミット
(フェアウェルパーティー)

【実現のための主な検討項目】

- ◎地域の文化財解説を充実 ◎先端的な情報技術等の活用
- ◎多言語対応の拡充 ◎ユニークベニュー活用を促進する設備の拡充 等

目標2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする

- 子どもの学び、子育て、高齢者や障がい者の「生活の質の向上」に資する機能を強化し、市民がライフステージの各局面で「居場所ができる」博物館をめざす。
- 市民の歴史文化に関する多彩な体験・活動の場としての使いやすさを向上させる。



【実現のための主な検討項目】

- ◎感染症対策とユニバーサルデザインに配慮した設備の強化
- ◎校外学習や修学旅行に活用しやすい体験学習室等の拡充
- ◎周辺施設との役割分担も踏まえた読書室・講座室等の機能の見直し 等



目標3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める

- 文化財を守る展示・収蔵機能の維持向上を図る。
- 外構の花と緑のオアシス空間としての魅力向上に取り組み、シーサイドももちエリアの魅力向上を図る。
- 脱炭素社会への歩みを着実に進める設備や技術の導入を図る。
- 効果的・効率的な事業の推進と施設の運営を図る。



【実現のための主な検討項目】

- ◎文化財の保存・保管機能の増強 ◎防災・セキュリティ機能の強化
- ◎敷地を活かした周辺環境に調和するにぎわい拠点づくり ◎飲食や物販に関する施設の充実
- ◎高効率な空調・LED照明の導入 ◎民間活力の導入 等

5. 博物館リニューアルまでに想定される今後の手順

基本計画

事業者の選定準備

事業者選定

設計・工事

博物館の休館

リニューアル
オープン